



栃木の 土地改良

第513号
平成28年度第1号

●発行 栃木県土地改良事業団体連合会

●ホームページアドレス <http://www.tcgdoren.or.jp>

メールアドレス soumu@tcgdoren.or.jp

水土里ネットとちぎは本会の愛称です。

平成27年度田んぼまわりの生きものマップ・写真コンテスト
生きもの調査写真の部 最優秀賞作品
小泉環境保全会（益子町）

栃木の土地改良
平成28年度第1号

表紙の写真

平成27年度田んぼまわりの
生きものマップ・写真コンテスト
生きもの調査写真の部
最優秀賞作品
小泉環境保全会（益子町）



審査評価は、「いきいきとした子供の表情。それを見守る父親のやさしい笑顔。この一枚に生きもの調査の楽しさが詰まっている。」というものでした。

－ 主 な 内 容 －

ご挨拶

- ◇新任ごあいさつ 栃木県農政部長 1
- ◇新任ごあいさつ 栃木県農政部農地整備課長 2

定期人事異動

- ◇栃木県職員の定期人事異動（主幹以上） 3
- ◇栃木県職員の退職者（平成28年3月31日付け） 4
- ◇本会職員の定期人事異動（主幹以上） 4
- ◇本会職員の退職者（平成28年3月31日付け） 4
- ◇水土里ネットとちぎ事務局機構 5

会議・総会・部会

- ◇平成27年度第4回理事会を開催 6
- ◇平成27年度第3回監事会を開催 6
- ◇第96回通常総会・表彰式を開催 7
- ◇平成28年度第1回理事会を開催 10
- ◇平成28年度第1回監事会を開催 10
- ◇栃木県土地改良事業推進協議会平成28年度第1回役員会を開催 11
- ◇平成28年度栃木県21世紀土地改良区創造運動推進委員会を開催 11
- ◇平成28年度栃木県土地改良区統合整備推進協議会を開催 12

事業情報

- ◇平成27年度土地改良区役職員等研修会を開催 12
- ◇平成27年度とちぎの豊かな農村づくりフォーラムを開催 13

表彰

- ◇小山市美田東部土地改良区が農村振興局長表彰 15
- 第56回全国土地改良事業功労者表彰式
- ◇春の叙勲 本県で旭日単光章（土地改良関係）を受章 16

竣工式

- ◇県営経営体育成基盤整備事業二輪地区竣工記念式典を開催 16

案内

- ◇各種資格取得者・新規採用職員 17
- ◇株式会社日本政策金融公庫からのお知らせ 19
- ◇第39回全国土地改良大会「石川大会」のお知らせ 19

会員土地改良区（連合）情報

- ◇シリーズ土地改良区紹介⑩水土里ネット小川（那珂川町） 20

お知らせ

- ◇臨時総会・会員研修会のお知らせ 22
- ◇クールビズ開始のお知らせ 22
- ◇出前講座を活用しましょう 22

新任のごあいさつ



栃木県農政部長

小林 延年

この度の定期異動により農政部長を拝命しました小林でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

着任に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

皆様には、日ごろから本県農業の振興に特段の御尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、農業・農村を取り巻く情勢は、人口減少・超高齢化社会の到来、ＴＰＰをはじめとする国際化の進展など、大きな変革の時を迎えています。

こうした中、県では、本県農業のさらなる飛躍を図るため、新たに「とちぎ農業“進化”躍動プラン」を策定し、「成長産業として進化する農業・栃木」を基本目標として、担い手への農地の集積・集約等による収益性の高い経営体の育成や、スカイベリーをはじめとする県産農産物のブランド力の強化、輸出の促進など、「攻めの農政」を展開していくことといたしました。

これらの取組を進めていくためには、生産基盤の整備が不可欠でありますことから、生産コストの低減や水田フル活用を可能とするほ場の整備を積極的に推進するとともに、老朽化の進む農業水利施設の適切な保安全管理や農業用施設の防災・減災対策など、強い農業の基盤づくりを積極的に進めて参ります。

また、多様な主体の参画による農業・農村の多面的機能の維持・発揮を推進するため、農村の地域資源を保全する日本型直接支払制度等の取組を支援し、棲みよい農村環境づくりを進めて参ります。

今後とも、子供たちに夢を与え、人を惹きつける魅力ある農業・農村の実現を目指し、関係機関・団体と連携しながら、農業農村整備事業の一層の推進に努めて参りたいと考えておりますので、会員の皆様の一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴連合会の御発展と皆様の御健勝を祈念申し上げまして、新任のあいさつといたします。

新任のあいさつ



栃木県農政部農地整備課長

南 木 好 樹

この度の定期異動により着任いたしました。
どうぞよろしくお願いいたします。

皆様には、日頃から、本県農業農村整備の推進に特段の御支援、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、農業従事者の高齢化やＴＰＰの進展など、農業・農村を取り巻く情勢が大きく変化する中、農業農村の持続的発展をより確かなものとしていくためには、その土台となる農地や農業水利施設をしっかりと守り、未来に引き継いでいくことが重要となっております。

そのため県としては、今後の農業農村整備の展開方向を示した「とちぎ水土里づくりプランⅢ（栃木県農業農村整備推進計画）」を策定し、強い農業と元気な農村を目指して各種施策を推進していくこととしました。

中でも、農業生産性の向上に向けた水田の大区画化・汎用化及び園芸振興に資する畑地の基盤整備を推進するとともに、農地中間管理機構との連携による担い手への農地集積・集約化を促進して参ります。

また、老朽化の進行する農業水利施設については、計画的な機能診断や施設の長寿命化対策を通じて、ライフサイクルコストの低減を図るとともに、水管理の省力化に向けた新技術の導入やＩＣＴの活用を積極的に推進して参ります。

併せまして、土地改良区の統合整備や検査指導及び人材育成等への支援を通して、運営体制の強化を進めて参ります。

さらに、今年度から国営かんがい排水事業栃木南部地区の着手が予定されており、県としましても、事業の円滑な推進に向けて積極的に支援して参ります。

今後とも、将来に夢の持てる本県農業の発展に向けて、地域の方々とともに、元気な農業農村づくりに取り組んで参りますので、会員の皆様の一層の御協力と御支援をお願い致します。

結びに、栃木県土地改良事業団体連合会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝をを御祈念申し上げまして、新任のあいさつといたします。

栃木県職員（土地改良関係）の定期人事異動

◆平成28年4月1日付け土地改良関係幹部職員（○印は昇任、敬称略）

農政部長（農政部次長兼農政課長）	小林 延年
農政部次長兼農政課長（農政部次長）	渡邊 和明
農政部次長（農政部参事兼畜産振興課長）	杉本 宏之
農業試験場長（経営技術課長）	○高橋 建夫
農業大学校長（農政部参事兼下都賀農業振興事務所長）	伊藤 芳郎
農政部参事兼芳賀農業振興事務所長（生産振興課長）	○田中 敏夫
農政部参事兼下都賀農業振興事務所長（農地整備課長）	○福田 靖夫
農地整備課長（安足農業振興事務所企画振興部長）	南木 好樹
県土整備部監理課総務主幹（農村振興課課長補佐（総括）（総務企画担当））	○梁木 達夫
河内農業振興事務所長（河内農業振興事務所経営普及部長）	角田 永子
上都賀農業振興事務所長（塩谷南那須農業振興事務所企画振興部長）	原 利浩
安足農業振興事務所長（下都賀農業振興事務所企画振興部長）	山田 健悦
総合政策部地域振興課土地利用調整班長（農政課主幹兼課長補佐（総括））	大塚 周之
農政課農政戦略推進室長（芳賀農業振興事務所企画振興部長）	清水 靖夫
経済流通課主幹兼課長補佐（総括）	
（農地整備課長補佐（総括）（事業管理担当））	○荒井 勝浩
畜産振興課主幹（農村振興課主幹兼課長補佐）	関戸 章一
農地整備課主幹兼課長補佐（総括）（農地整備課長補佐（総括））	○青柳 俊明
農地整備課主幹（水利保全担当）	
（芳賀農業振興事務所農村整備部長補佐（総括）兼調査保全課長）	○福田 典耕
県土整備部技術管理課検査監	
（那須農業振興事務所農村整備部長補佐（総括）兼調査保全課長）	○渋谷 亨
県土整備部住宅課主幹（栃木県住宅供給公社派遣）	
（安足農業振興事務所企画振興部長補佐（総括）兼企画調整課長）	○浅野 敏
下都賀農業振興事務所主幹	
（下都賀農業振興事務所農村整備部長補佐（総括）兼調査保全課長）	○渡邊 修一
塩谷南那須農業振興事務所企画振興部長（芳賀農業振興事務所主幹）	津浦 好一
塩谷南那須農業振興事務所農村整備部長（上都賀農業振興事務所企画振興部長）	和氣 好延
那須農業振興事務所那須広域ダム管理支所長	
（塩谷南那須農業振興事務所農村整備部長補佐（総括）兼整備課長）	○手塚 由和
安足農業振興事務所企画振興部長	
（上都賀農業振興事務所農村整備部長補佐（総括）兼調査保全課長）	○関口 安紀

栃木県職員（土地改良関係）の退職者（平成28年3月31日付け）

◆退職者（敬称略）

農政部長	南斎 好伸
農村振興課主幹兼技術調整担当 G L	笹沼富士男
河内農業振興事務所農村整備部長補佐（総括）兼整備課長	落合 克己
河内農業振興事務所農村整備部長補佐兼管理指導担当 G L	加藤 光市
芳賀農業振興事務所農村整備部整備課副主幹	大橋 克世
下都賀農業振興事務所農村整備部長補佐兼整備課長	伊原 智之
塩谷南那須農業振興事務所農村整備部長	井上 正一
塩谷南那須農業振興事務所農村整備部長補佐兼管理指導担当 G L	大門 一之
那須農業振興事務所那須広域ダム管理支所長	秋元 誠
県土整備部技術管理課検査監	根本 政行

本会職員の定期人事異動

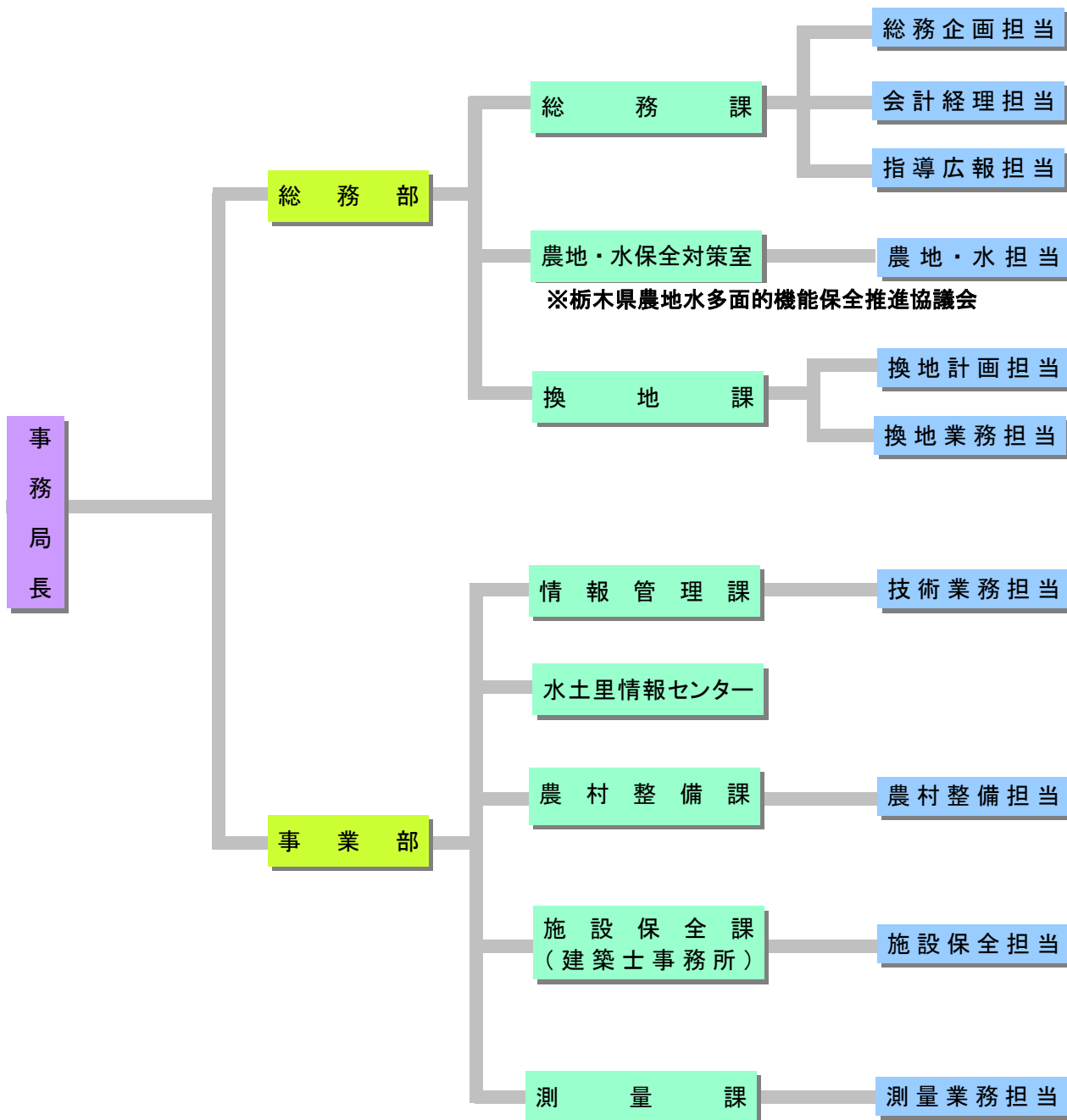
◆平成28年4月1日付け幹部職員（○印は昇任、敬称略）

事務局長（事務局次長兼総務部長）	横山 和彦
総務部長（総務課長）	○高橋 克己
事業部長（会員支援課長）	○手塚 光一
総務部次長兼農地・水保全対策室長（農地・水保全対策室長）	○別井 進
総務部次長兼換地課長（換地課長）	○田代 悟
総務部付主幹（芳賀町土地改良区出向）	
（会員支援課長補佐（施設管理担当 G L））	○小藤 克己
総務課長（情報管理課長）	天川 幸人
換地課主幹（換地計画担当 G L）（換地課長補佐（換地計画担当 G L））	○廣瀬 信昭
情報管理課長兼水土里情報センター所長	
（測量課主幹（確定・用地測量担当 G L））	阿久津年之
情報管理課主幹（技術業務担当 G L）（農村整備課主幹（農村整備担当 G L））	渡辺 光一
施設保全課長（測量課長）	村上 祐二
施設保全課主幹（施設保全担当 G L）（農村整備課主幹（集落排水担当 G L））	関谷 昌宏
測量課長（農地・水保全対策室主幹（農地・水担当 G L））	山口佳子男

本会職員の退職者（平成28年3月31日付け）

事務局長	吉澤 昭栄
事業部長	古川二三夫
総務部専門官	石塚 英好
総務部農地・水保全対策室主任	大貫 泉
事業部農村整備課技師	藤島 大樹

平成28年度 水土里ネットとちぎ事務局機構



◇ 職員数 ◇

所 属	職 員	嘱 託	補助職員	計
事 務 局	1名	—	—	1名
総 務 部	25名	1名	8名	34名
事 業 部	30名	3名	7名	40名
計	56名	4名	15名	75名

(平成28年4月1日現在)

平成27年度第4回理事会を開催

日 時：平成28年2月8日（月）
午前9時30分～
場 所：栃木県土地改良会館会議室

平成27年度第4回理事会を開催し、次の議事及び協議事項並びに報告事項が全て原案どおり可決決定・承認されました。



開会挨拶をする大久保寿夫会長

【議事】

- 第1号議案 平成27年度一般会計予算の補正について
- 第2号議案 平成28年度事業計画について
- 第3号議案 平成28年度賦課金徴収基準及び徴収の方法について

- 第4号議案 平成28年度受託料徴収基準について
- 第5号議案 平成28年度一般会計予算について
- 第6号議案 平成28年度役員報酬について
- 第7号議案 平成28年度一時借入金の借入限度、借入先、利率及び償還方法について
- 第8号議案 平成28年度金銭の預入先について
- 第9号議案 第96回通常総会の招集及び同総会付議事項について
- 第10号議案 職員給与規程の一部改正について
- 第11号議案 特定個人情報等取扱規程の制定について
- 第12号議案 職員服務規程の一部改正について
- 第13号議案 表彰規程による表彰者の選考について

【協議事項】

- 第96回通常総会における要望事項等決議（案）について

【報告事項】

- 平成28年4月職員採用について

平成27年度第3回監事会を開催

日 時：平成27年2月23日（火）
午前10時00分～
場 所：栃木県土地改良会館会議室

平成27年度第3回監事会を開催し、次の議事が原案どおり可決決定され、途中監事会を休会して監査が執行されました。

監査結果は「概ね良好」と判定され、監査報告書は原案どおり決定されました。

【議事】

- 第1号議案 監査細則の一部改正について
- 第2号議案 平成27年度業務の執行状況及び同一般会計の執行状況並びに財産の状況に関する監査について



開会挨拶する和氣六一郎代表監事

本会第96回通常総会を開催 土地改良功労者（団体表彰5団体、個人表彰19名）を表彰

日 時：平成28年3月23日（水）午前10時00分～

場 所：栃木県土地改良会館

会員142名（内書面議決54会員）の出席のもと、第96回通常総会を開催し、次の議事について審議をいただいたところ、全て原案どおり承認、議決されました。

また、予定された議案の審議が終了したところで、壬生町土地改良区の鈴木理夫理事長から農業農村整備事業の推進を求める決議（後記）の動議が提案され、総会に諮ったところ満場一致で採択されました。

なお、総会の開会後議事に先だって開催した平成27年度の土地改良功労者表彰において、長年土地改良事業の推進に功績のあった後記の5団体及び19名の方々に感謝状の贈呈を行いました。

また、総会終了後に、永嶋善隆関東農政局次長から、「農業農村整備事業の現状と課題」と題して約45分間の御講演をいただきました。

第1号議案 平成27年度一般会計予算の補正について

第2号議案 平成28年度事業計画について

第3号議案 平成28年度賦課金徴収基準及び徴収の方法について

第4号議案 平成28年度受託料徴収基準について

第5号議案 平成28年度一般会計予算について

第6号議案 平成28年度役員報酬について

第7号議案 平成28年度一時借入金の借入限度、借入先、利率及び償還方法について

第8号議案 平成28年度金銭の預入先について

第9号議案 総会議決事項の理事会委任について

追 加 議 案 農業農村整備事業の推進を求める決議（動議）



主催者挨拶する大久保寿夫会長



講演される永嶋善隆関東農政局次長

農業農村整備事業の推進を求める決議

本県の農業・農村は、米麦を中心に、園芸、畜産のバランスの取れた地域性豊かな農業を展開しており、全国有数の農業県として、安心・安全な農作物の安定供給を担ってきた。また、豊かな国土や自然環境の保全など、多面的機能の発揮のもと、県土の維持形成に大きな役割を果たしてきた。

その間、先人達は、農業・農村の健全な発展のため、農地や農業用水路など、地域資源の維持・向上のため、献身的な努力を続けてきた。

しかしながら、現下の農業・農村をめぐる状況は、都市に先駆けて高齢化や人口減少が進んでおり、担い手の減少や高齢化の加速、耕作放棄地の増加、更には、地域活力の低下に加え、ＴＰＰ協定による農産物価格低下への懸念など、多くの課題が山積している。

このような状況の中、国は「地方創生」や「一億総活躍社会」の実現に向け、「農林水産業・地域の活力創造プラン」に基づき、「強い農林水産業」と「国土強靱化」を目指し、各種施策を展開しているところである。

一方、県においても、新しい農業振興計画「とちぎ農業、進化“躍動プラン”」に基づき、国際化に対応できる強い農業の確立に向け、新たな魅力と価値を創造する「成長産業として進化する農業・栃木」を目指し、各種事業を推進することとしている。

我々水土里ネット（土地改良区・土地改良事業団体連合会）は、これまで培ってきた経験と技術を活用し、国・県が目指すべき方向の実現に向け、積極的に貢献をしていく覚悟の下、農業・農村の更なる発展のため総力を結集し、国・県の関係機関に、次の事項の実現を強く要請する。

記

- 一、 農業農村整備事業の安定的・計画的な執行のため、現場のニーズに十分応えられる規模の予算を確保するとともに、ＴＰＰ対策については、農林水産予算の枠組みに配慮し、継続的に必要な予算措置を講ずること
- 一、 担い手への農地集積、コスト低減に極めて有効な農地整備事業並びに農地の大区画化・汎用化等に資する基盤整備事業の積極的な推進と予算を確保すること
- 一、 老朽化した農業水利施設の更新・管理のため、長寿命化や耐震化、洪水被害防止等の防災・減災対策を着実に推進するとともに、土地改良施設維持管理適正化事業に必要な予算を確保すること
- 一、 農村地域の活性化や農業の構造改革を加速化するため、担い手を後押しする多面的機能支払交付金の安定的な予算を確保すること
- 一、 水土里ネットの公益的な役割と特性に鑑み、担い手等の求める高度な施設の維持管理が行えるよう、組織・運営基盤の強化に向け、更なる対策を講ずること

平成２８年３月２３日

栃木県土地改良事業団体連合会第96回通常総会

◆平成27年度表彰者（敬称略）

1 団体表彰（5団体）

◎ 建設業者

光洋建設株式会社
いなば建設株式会社
株式会社小林工業
吉栄工業株式会社
株式会社須藤工業

2 個人表彰（19名）

◎ 県職員

南 斎 好 伸（栃木県農政部）
笹 沼 富士男（栃木県農政部農村振興課）
落 合 克 己（河内農業振興事務所）
加 藤 光 市（河内農業振興事務所）
大 橋 克 世（芳賀農業振興事務所）
伊 原 智 之（下都賀農業振興事務所）
井 上 正 一
（塩谷南那須農業振興事務所）
大 門 一 之
（塩谷南那須農業振興事務所）
秋 元 誠
（那須農業振興事務所
那須広域ダム管理支所）
根 本 政 行（県土整備部技術管理課）



表彰状を授与される受賞者

◎ 市町職員

藤 田 敏 明（鹿沼市経済部農政課）
田 村 一 美（小山市建設水道部）
川 嶋 宣 由（大田原市財務部財政課）
相 川 正 明
（足利市産業観光部農林整備課）

◎ 土地改良区職員

前 原 典 子（国分寺土地改良区）
福 田 絵美子
（足利市わたらせ川左岸土地改良区）

◎ 本会職員

吉 澤 昭 栄（事務局）
古 川 二三夫（事業部）
石 塚 英 好（総務部）

平成28年度第1回理事会を開催

日 時：平成28年4月11日（月）

午後4時30分～

場 所：宇都宮市 ホテルニューイタヤ

本会は、去る4月11日、宇都宮市内のホテルにおいて、第1回理事会を開催した。



開会挨拶を述べる大久保寿夫会長

会議は、高橋総務部長の司会進行で開会し、大久保寿夫会長の開会挨拶に続いて荒井真一栃木県農政部農村振興課長から来賓挨拶をいただき議事に入った。

議事は、大久保会長が議長となり、次の議事及び報告事項について審議し、全て原案どおり可決決定・承認されました。

【議事】

第1号議案 平成28年度一般会計予算の補正について

第2号議案 個人情報保護に関する規程の一部改正について

【報告事項】

(1) 職員の採用について

(2) 第39回全国土地改良大会（石川大会）について

平成28年度第1回監事会を開催

日 時：平成28年4月11日（月）

午後4時00分～

場 所：宇都宮市 ホテルニューイタヤ

本会は、去る4月11日、宇都宮市内のホテルにおいて、第1回監事会を開催した。

会議は、天川総務課長の司会進行で開会し、和氣六一郎代表監事が議長となり、次の議事について審議が行われ、原案どおり議決された。

【議事】

第1号議案 平成28年度監査計画について



監事会の様子

平成 28 年度栃木県土地改良事業推進協議会第 1 回役員会を開催

去る 4 月 11 日、宇都宮市内のホテルにおいて、平成 28 年度栃木県土地改良事業推進協議会第 1 回役員会が開催されました。

同協議会は、栃木県の農業生産基盤並びに農村生活環境の整備開発を推進し、農業生産性の向上と農村生活環境の改善を促進することを目的として、土地改良事業推進のための調査啓蒙、関係機関及び関係団体との連絡調整などを行っています。

会議は、高橋勇丞会長（北那須土地改良事業推進協議会長）が開会挨拶を述べた後、議長となって進められ、第 1 号議案平成 27 年度事業報告について、第 2 号議案平成 27 年度収入支出決算について、第 3 号議案平成 28 年度事業計画について、第 4 号議案平成 28 年度収入支出予算についての 4 議案について審議が行われ、それぞれ原案どおり承認、議決されました。



開会挨拶を述べる高橋勇丞会長



会議の様子

平成 28 年度栃木県 21 世紀土地改良区創造運動推進委員会を開催

本会は、去る 4 月 11 日、宇都宮市内のホテルにおいて、平成 28 年度栃木県 21 世紀土地改良区創造運動推進委員会を開催しました。

この委員会は、栃木県における 21 世紀土地改良区創造運動を着実に推進することを目的として、創造運動に関する調査、研究、啓発や土地改良区への指導、支援等の事業を行っております。

会議は、高橋勇丞委員長（北那須土地改良事業推進協議会長）が、開会挨拶を述べた後、議長となり、第 1 号議案平成 27 年度活動報告について及び第 2 号議案平成 28 年度活動計画についての 2 議案を審議し、それぞれ原案どおり承認並びに議決しました。



開会挨拶をする高橋勇丞委員長

平成 28 年度栃木県土地改良区統合整備推進協議会を開催

本会は、去る 4 月 11 日、宇都宮市内のホテルにおいて、平成 28 年度第 1 回栃木県土地改良区統合整備推進協議会を開催しました。

同協議会は、栃木県が推進する土地改良区の統合整備対策に積極的に参画、支援していくことを目的として、平成 7 年度に本会内に設置し、統合整備に関する調査、研究、啓発や指導助言等の事業を行っております。

会議は、高橋勇丞委員長（北那須土地改良事業推進協議会長）が開会挨拶を述べた後、議長となり、第 1 号議案平成 27 年度活動報告につ

いて及び第 2 号議案平成 28 年度活動計画についての 2 議案の審議を行い、それぞれ原案どおり承認並びに議決しました。

続いて、報告事項においては、県農地整備課管理指導担当の岡野英樹副主幹より「栃木県土地改良区運営強化推進計画に基づく取り組みについて」と題し、平成 27 年度の取り組みと成果及び成果指標の状況並びに栃木県土地改良区運営強化推進計画の概要について、詳細な説明を受けました。



協議会の様子



推進計画の取組状況を説明する岡野副主幹

平成 27 年度土地改良区役職員等研修会を開催

本会は、去る 3 月 7 日、栃木県土地改良会館において、講師に自由民主党農林水産戦略調査会長の西川公也衆議院議員と都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問の進藤金日子氏を招き、県内土地改良区役職員等 230 名の参加のもと、研修会を開催しました。

研修会は、高橋勇丞副会長により開会され、大久保寿夫会長の主催者挨拶後、最初に西川公也先生から「TPP と日本の農業の行方」と題して、これまで報道されなかったエピソードを

交え、TPP 交渉アトランタ合意に至るまでの交渉経緯や TPP 対策による施策について、約 45 分熱弁を振るわれました。

次に進藤金日子顧問から「これからの農業農村振興について」と題して、農業農村整備関係予算の推移や食料自給率の回復の必要性など農業農村振興の新たな展開について約 40 分間のご講義をいただき、田井哲副会長により閉会されました。



講演される西川公也衆議院議員



講演される進藤金日子顧問

とちぎの豊かな農村づくりフォーラムを開催 ～多面的機能の発揮を私たちの手で～

栃木県農地水多面的機能保全推進協議会（会長・大久保寿夫水土里ネットとちぎ会長）は、去る2月9日、栃木県総合文化センターメインホールに於いて『とちぎの豊かな農村づくりフォーラム』を開催しました。フォーラムには、農村環境の保全活動に取り組む活動組織のメンバーや一般県民の方など約1,000名にも及ぶ来場者がありました。

開会に先立ち、白鷗大学ハンドベルクワイアによるオープニングセレモニーが行われ、ハンドベルの透き通る音色が会場を余韻に包む中を開会式が始められ、大久保県協議会長から、「これからの多面的機能の保全活動を地域の皆さんと共に考え、とちぎの豊かな農村づくりを伝えよう」と開会挨拶がありました。続いて来賓として出席された、永嶋善隆関東農政局次長並びに南斎好伸栃木県農政部長から祝辞が述べられました。

第1部の田んぼまわりの生きものマップ・写真コンテスト表彰式では、大久保会長から同コンテストにおいてめでたく入賞を果たされた

後記の11作品の活動組織代表者に賞状及び記念品が授与されました。また、審査委員長の水谷正一宇都宮大学名誉教授からは、コンテストの意義並びに入賞作品の講評が行われ、受賞者皆さんで記念撮影に収まりました。

第2部の基調講演では、三重県多気町勢和地域資源保全・活用協議会の高橋幸照事務局長が「多面的機能支払制度に於ける『広域活動と女性の参加』」と題して、幅広い組織体制や様々な工夫を凝らした取組事例の紹介があり、活動の理解を深めました。

第3部のパネルトークでは「農村の魅力と多面的機能支払の役割や活動」をテーマにパネリストやコメンテーターから活動紹介があり、コーディネーターの水谷名誉教授から農村の魅力である「食、伝統文化、景観、生きもの」の4つのキーワードに取り組むことが地域活性化に繋がるとまとめられ、皆一様に聞き入っていました。最後に会場からの質疑を受けてフォーラムが閉会しました。



大久保寿夫県協議会長挨拶



受賞者記念撮影



高橋幸照氏による講演



パネルトーク

また、併催行事の「田んぼまわりの生きもの
マップ・写真作品展」が同所第2ギャラリーに
おいて2月8日から10日までの3日間開催さ
れ、同コンテストに応募のあった全作品が展示
されました。作品展には、活動組織の関係者の
他にも多くの市民の方が会場に足を運ばれ、作
品を熱心に見入っていました。



田んぼまわりの生きものマップ・写真作品展

田んぼまわりの生きものマップ・写真コンテスト入賞作品

◇生きものマップの部

○最優秀賞

思川西部農村環境保全会・寒川花桶の郷（小山市）

○優秀賞

自然の里保全会・自然の里ままだ（小山市）

みどりの里こてやま（宇都宮市）

湧水の郷塩田環境保全会（矢板市）

○審査員特別賞

自然の郷武井（小山市）

◇生きもの調査写真の部

○最優秀賞

小泉環境保全会（益子町）

○優秀賞

ミヤコタナゴの里環境保全会（大田原市）

里西環境保全会（益子町）

青木四区環境保全会（那須塩原市）

○審査員特別賞

尾羽の里環境保全会（益子町）

小山用水保全協議会・東野田環境保全向上委員会（小山市）



生きものマップの部 最優秀賞作品

パネルトーク参加者（敬称略）

コーディネーター 水谷正一（宇都宮大学名誉教授）

パネリスト 高瀬孝明（みたとうぶ保全会代表）

パネリスト 加納麻紀子（NPO法人くまの木里の暮らし事務局長）

パネリスト 鈴木良雄（NPO法人三区町地域資源・環境保全会事務局長）

コメンテーター 高橋幸照（三重県多気町勢和地域資源保全・活用協議会事務局長）

コメンテーター 田村孝浩（宇都宮大学農学部農業環境工学科准教授）

小山市美田東部土地改良区が農林水産省農村振興局長表彰 第57回全国土地改良功労者表彰式

去る3月25日、東京都千代田区平河町のシェンバツハ・サボーにおいて、全国水土里ネット主催による第57回全国土地改良功労者表彰式が開催された。

表彰式は、農林水産省から森山裕農林水産大臣をはじめ、末松広行農村振興局長、室本隆司同次長、印藤久喜同整備部長、奥田透同整備部



式辞を述べる二階俊博全土連会長

設計課長、石垣英司同整備部土地改良企画課長、横井績同整備部農地資源課長を来賓に招き、全国の受章者・土地改良関係者約600名が出席して盛大に開会された。

最初に、二階俊博全国水土里ネット会長が式辞を述べられ、続いて森山裕農林水産大臣及び進藤金日子都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問からご祝辞を頂いた後、農林水産大臣表彰（5地区）、農村振興局長表彰（4地区：本年度から新規）、①土地改良功労者表彰（金章32地区、銀章57地区、銅章30地区、個人103名）、②平成27年度農業農村整備優良地区表彰、③平成27年度21世紀土地改良区創造運動表彰が執り行われた。

本県関係では、それぞれ下記の団体及び個人がめでたく受賞の栄に浴しました。

◇農村振興局長表彰◇

小山市美田東部土地改良区（小山市）

◇土地改良功労者表彰◇（敬称略）

金章 南河内土地改良区（下野市）

銀章 清原南部土地改良区（宇都宮市）

しおや土地改良区（塩谷町）

銅章 西の原用水土地改良区連合（那珂川町）

個人 中島 榮吉（飯塚土地改良区理事長）

高橋 清一（佐野市土地改良区事務局長）

田代 悟（水土里ネットとちぎ総務部換地課長）

水上 洋一（水土里ネットとちぎ事業部測量課課長補佐）

◇21世紀土地改良区創造運動表彰◇

さなえ賞 思川西部土地改良区（小山市）



本県の各賞受賞関係者並びに個人受賞者

春の叙勲 都賀町土地改良区 氏家和男 理事長が 旭日単光章（土地改良事業関係）を受章

政府は、4月29日付けで2016年春の叙勲の受章者（4, 115人）を発表しました。

本県関係では60人（旭日章11人、瑞宝章49人）が受章しました。

この中、土地改良事業関係では、氏家和男都

賀町土地改良区理事長が、土地改良事業の推進を通じて、農業・農村の振興と発展にご尽力されたご功績を認められ、旭日単光章の栄誉に輝きました。



氏家和男氏（80歳）

（昭和10年11月8日 生まれ）

【経歴】

平成 5年11月～平成 9年3月 旧深沢大柿土地改良区副理事長

平成 9年 4月～平成21年1月 旧深沢大柿土地改良区理事長

平成21年 1月～現在 都賀町土地改良区理事長

○ 団体営土地改良総合整備事業深沢大柿地区を完成させ、旧都賀町管内9土地改良区を新設合併に導くと同時に、県営経営体育成基盤整備事業赤津南部地区を完了させた後、農業基盤整備促進事業等の新規事業に積極的に取り組み、地区の整備水準の向上を図るとともに、老朽化の進む土地改良施設の計画的な補修整備を進め、安定的かつ効率的な農業経営を実現させるなど、都賀地区の土地改良事業の推進と地域農業振興に多大な功績を残されています。

県営経営体育成基盤整備事業 二輪地区竣工記念式典を開催

県営経営体育成基盤整備事業二輪地区は、平成22年度に工事が着手されてから6年の歳月をかけて平成27年度に竣工となりました。

湯津上土地改良区（磯紘一理事長）は、去る4月21日、津久井富雄大田原市長代理佐藤芳昭産業振興部長をはじめ多数のご来賓をお迎えし、大田原市金丸地内のホテルにおいて竣工記念式典を挙行されました。



二輪地区竣工を祝う関係者の皆様

式典は、磯理事長の式辞に続き、小林英夫二輪地区委員長兼工事委員長より事業経過の報告が行われました。続く来賓祝辞では、佐藤大田原市産業振興部長、栃木県那須農業振興事務所長代理の関根忠雄農村整備部長、高野礼子大田原市議会議員がそれぞれ祝辞を述べられ、地域の更なる発展を祈念するとともに事業の竣工を祝いました。

関係者の方々は、本地域の農業者の積年の願いであった基盤整備事業が見事に完成し、皆の努力をたたえあうとともに、これを機に当地域の活力と魅力あふれる発展への取組みの決意を新たにしました。

◇ 事業概要 ◇

事業名	県営経営体育成基盤整備事業
事業区域	大田原市佐良土地内
事業実施年度	平成22年度～平成27年度
地区面積	30.6ha
総事業費	3億7千200万円
組合員数	30名

各種資格取得者（平成27年4月～28年3月）

平成27年度において、各種資格試験に合格し、登録機関に登録となった職員は、以下のとおりです。通常業務を遂行しながら切磋琢磨し、資格試験にチャレンジいたしました。

会員のみなさまのご期待に応えられるよう、今後とも努力して参りますので、よろしくお願いいたします。



総務部 換地課
係長 野澤 克彦
土地改良換地士



事業部 施設保全課
係長 宮下 敬弘
農業水利施設機能総合診断士



事業部 農村整備課
係長 柿岡 貴弘
1級土木施工管理技士

平成28年度新規採用職員紹介

会員の負託に確実に応え、本会業務の技術継承を図るため、職員採用試験を実施いたしました。みごと合格し、平成28年4月1日から新たに職員となった方は、以下のとおりです。

多くの期待が寄せられているところですが、全職員で努力してまいりますので、若さと希望に満ちた新規採用職員をよろしくお願い申し上げます。



氏名 すけがわ しゅんのすけ
助川 駿之介
所属 総務部 総務課
出身校 宇都宮大学 農学部

大学では、農業経済を専攻しておりました。その中で、土地、水といった側面から農業に関わっている土地改良事業を知り、自らもそのような基盤となる部分から、農家の皆様のお役に立たせて

頂きたいと考え、この仕事に就くことを決めました。

新規採用者唯一の県外出身ではありますが、しっかりと栃木県に根を張り、誠心誠意職務に従事していきたいと考えております。

まだまだの未熟者のため、仕事を行う上で、ご迷惑を掛けてしまうことが多々あるとは思いますが、一日でも早く一人前となれるよう、粉骨砕身してまいりますので、どうか皆様も、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



氏名 おかだ みか
岡田 美香
所属 総務部 農地・水保全対策室
出身校 群馬大学 教育学部

大学卒業後、接客の仕事を経てこの度連合会の職員となりまして、多面的機能支払交付金に関する業務を担当致します。多面的機能支払交付金が適正に活用され、また農業・農村の有する

多面的機能が維持・発揮できるよう更なる事業の推進と活動に対する支援に努めて参ります。

子どもの頃に農家を営んでいた祖父母の家で田植えや収穫の手伝いをしたり、自然の遊び場で夢中で遊びまわったりした記憶は私の心を豊かにする大切な思い出です。農業・農村を守り、より良いものにしていく手助けができればと考えております。

皆様にご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、少しでも早く仕事を覚え、会員並びに

活動組織の皆様のお役に立てるよう頑張りますので何卒宜しくお願い致します。



いしまつ りゅう
氏 名 石 松 竜
所 属 総務部 換地課
出身校 福島大学 人文社会学群

連合会に採用が決まり就職するまでは、連合会の雰囲気になじめるか、また社会人としてしっかり働けるのか不安な時もありました。現在では、優しい先輩職員の指導の下、日々換地業務に携わり

一つずつ仕事を覚えています。

私は大学で法律について学んでいました。換地業務の中では法律に触れる機会も数多くありますので、大学で学んだことを活かしつつ、連合会や各土地改良区、そして会員の皆様から信頼される職員になれるように日々努力を積み重ねていきたいと思っています。

私自身農業についての知識はまだまだ未熟ですので、仕事を覚えると共に農業の知識を身につけて、栃木県の農業に貢献できるようになりたいです。

しばらくは皆様に様々なご迷惑をおかけすることが数多くあると思いますが、早く一人前になれるように、精進致しますので今後ともよろしくお願い致します。



ふくだ はつみ
氏 名 福 田 初 美
所 属 事業部 農村整備課
出身校 茨城大学 農学部

実家が農家であり、幼い頃から田んぼに馴染みのある生活をしていましたので、大学では農業土木について学んできました。大学で学んだことを少しでも活かすことができ、また農業に携

わる人たちを支える仕事に就きたいと思っており、今、その思いを実現することができて大変嬉しく思います。

技術職では初の女性職員ということでプレッシャーを感じておりますが、持ち前の明るく元気な性格を活かし、男性職員に負けないように頑張っていきたいと思っています。

分からないことばかりでご迷惑をお掛けすることが多々あると思いますが、連合会や会員の皆様のお役に立てるよう、早く仕事を覚え一人前になれるよう努力いたしますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



なりまつ しょうた
氏 名 成 松 翔 太
所 属 事業部 施設保全課
出身校 宇都宮大学 農学部

私は幼い頃から生物や自然に興味があり、いつか農業に関する職に就きたいと考えておりました。農業高校を卒業後は、地元大学の森林科学科に進学。森林環境や木材の研究を行いました。就職

活動で農業関連の職と縁を持てず、金融機関に入社しました。その後、金属加工関係の職業に転職しましたが、農業に関わりたいという思いが常に心にあり、本会に採用が決定されたとの通知を頂いた時には大変嬉しく感じました。

前職までは農業とは関係のない仕事内容ではありましたが、社会人としての知識と経験を得られた貴重な期間であったと感じています。今後は、より多くの知識を吸収し、大好きな地元栃木県の農業の維持発展に貢献していける存在になりたいと思っています。

ご迷惑をおかけすること多々あると思いますが、早く一人前になれるよう精進致しますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

株式会社日本政策金融公庫からのお知らせ

◇ 農業基盤整備資金の金利 ◇

平成28年4月20日付けで、農業基盤整備資金の金利が次のとおり改定されました。

金利情勢によって変動いたしますので、最新の金利は宇都宮支店にお問い合わせいただくか、金融公庫ホームページでご確認ください。

(単位：％)

区 分	改 定 前					改 定 後				
	融資期間 にかかわ らず	融資期間別（一例）				融資期間 にかかわ らず	融資期間別（一例）			
		5 年	10 年	15 年	20 年		5 年	10 年	15 年	20 年
都道府県営補助残	0.35	—	—	—	—	<u>0.25</u>	—	—	—	—
団 体 営 補 助 残	0.20	—	—	—	—	<u>0.10</u>	—	—	—	—
非 補 助 一 般	0.20	—	—	—	—	<u>0.10</u>	—	—	—	—
非補助利子軽減	0.20	—	—	—	—	<u>0.10</u>	—	—	—	—
災 害 復 旧		0.20	0.20	0.20	0.20		<u>0.10</u>	<u>0.10</u>	<u>0.10</u>	<u>0.10</u>

お問い合わせ先：株式会社日本政策金融公庫

宇都宮支店 農林水産事業 農業食品課 担当：新井 TEL 028-636-3901

<http://www.jfc.go.jp/>

日本公庫

検索

第39回全国土地改良大会「石川大会」のお知らせ

第39回全国土地改良大会石川大会が、

水土里の明日を築く土地改良 今こそ未来へつなぐ

～伝えよう水土里の歴史を あえの風にのせて～

をテーマとして、主催「全国土地改良事業団体連合会」、「石川県土地改良事業団体連合会」、後援「農林水産省」、「石川県」、「石川県議会」、「金沢市」、「石川県市長会」、「石川県町長会」、「石川県農業農村整備事業推進協議会」により、来る10月25日（火）金沢市内のいしかわ総合スポーツセンター「メインアリーナ」を会場に開催されます。



水土里ネット小川 小川土地改良区

土地改良区の沿革、地区の概要

当土地改良区の歴史は、記録によりますと、天保年中加賀、越中地方から移住入植者が、小川上河原、その他に散在土着するに至り、荒地に鍬が入れられ開田されました。当時水利の便が悪く用水路の必要が叫ばれ、箒川に堰を設け隧道約500mを掘削し100haの水田を潤すようになり小川普通水利組合が結成されました。

その後、小川西の原地区においては、明治25年西の原普通水利組合が結成され、箒川上流の大田原市福原に水源を求め隧道約3kmを掘削し300haの水田を潤しました。この2つの用水を統合し、昭和48年に県営事業により8年の年月を費やし、現在の西の原用水が完成しました。現在は、西の原用水土地改良区連合（小川、烏山の2土地改良区、受益地846ha）を結成し、頭首工及び幹線水路の維持管理を行っています。当土地改良区の83%が、受益地となっています。

本地域は、県北東部那珂川町の西部（旧小川町）に位置し、北に大田原市、西にさくら市、南に那須烏山市、東に那珂川町の中央を流れる一級河川那珂川の右岸に展開する水田地帯であります。標高は、170m～100mを有しています。水源はいずれも一級河川箒川より取水の、西の原用水土地改良区連合、藤沢用水土地改良区連合、塩那台地土地改良区に所属しており渇水時の用水不足は殆どありません。営農の状況は、水稻を主としていますが西の原用水の冬期水利を使用した

イチゴ等のハウス園芸も行われています。

組織については、平成18年に小川町土地改良区協議会に加入していた8土地改良区により土地改良区合併推進協議会を設立し、先進地視察等幾度かの協議を重ねた末、平成20年4月に合併し、受益面積686ha、組合員数739名、理事15名、監事4名、職員2名による新小川土地改良区が、誕生いたしました。



農業基盤整備事業により整備された
西の原用水の隧道

圃場整備事業の推進

当土地改良区の圃場整備率は、昭和43年ころから始まった、農業構造改善事業、県営圃場整備事業西の原地区及び小川北西部地区により整備され30a区画が81%で、戦後の耕地整理を加えると約93%が整備されています。しかし耕地整理地区については農道も狭く現在の大型機械が走行できない、水路は土水路が多く堀さらい等



箒川に架かる西の原頭首工



農業基盤整備事業で整備された用水路



那珂川左岸の南平台より受益地を望む

過大な労力を費やすため、農業後継者による農地集積にも困難を期しています。最近では耕作放棄地をなくすためにも小規模の圃場整備事業を希望する組合員も少なくありません。



那珂川町合併 10 周年記念事業で
描かれた田んぼアート
那珂川町イメージキャラクター「なかちゃん」

土地改良区概要	
設立年月日	平成 20 年 4 月 1 日
認可番号	栃木県第 6 7 6 号
受益面積	6 8 5 ha
組合員数	7 3 6 名
総代数	3 9 名
理事数	1 5 名
監事数	4 名
職員数	2 名

維持管理について

施設の維持管理については、合併前の土地改良区毎に地区委員会を設置し、施設の維持管理に努めております。施設の整備補修には、農業基盤整備促進事業、維持管理適正化事業、県単独農業農村整備事業及び町単独農村振興事業の補助事業を積極的に導入し、経費の節減を図るとともに、計画的に点検整備を行い適正な維持管理に努力しております。



都市との交流田植え

水土里ネット小川

所在地

〒324-0501 那珂川町小川 2524-1

TEL : 0287-96-2351

FAX : 0287-96-2312

第97回臨時総会・会員研修会のお知らせ

本会は次のとおり、第97回臨時総会と平成28年度会員研修会を開催いたします。

◇ 第97回臨時総会 ◇

日 時 平成28年9月13日（火） 午後2時から
場 所 鬼怒川グランドホテル夢の季
日光市鬼怒川温泉大原1021
TEL：0288-77-1313（代）

◇ 平成28年度会員研修会 ◇

○（1日目）

日 時 平成28年9月13日（火） 午後4時から

○（2日目）

日 時 平成28年9月14日（水） 午前9時から

場 所 鬼怒川グランドホテル夢の季（両日とも）
日光市鬼怒川温泉大原1021
TEL：0288-77-1313（代）

クールビズ開始のお知らせ

本会では、今年度においても、職員の健康保持及び事務能率の向上並びに電力量消費節約に資するため、次の期間はノーネクタイ等の軽装にて業務を行いますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

実施期間：5月1日から10月31日まで

出前講座を活用しましょう

本会では、土地改良区の役職員等を対象とした出前講座を行っております。

講座内容については、役員改選等により新しく役員に就任された方々のための役員の職務について等、土地改良区業務運営に係るものなど、幅広い内容でご要望に応じて対応させていただきますので、次の連絡先までお気軽にお申し込みください。

◇ 連絡先 ◇

水土里ネットとちぎ（栃木県土地改良事業団体連合会）
総務部 総務課 電 話：028-660-5701
FAX：028-660-5711